



～東京フィル首席メンバーによる～ ちよっと身近なクラシック

-Profile-



近藤 薫 (こんどう かおる) ヴァイオリン

東京藝術大学をアカンサス賞を受賞して卒業後、同大学大学院修士課程修了。在学中、藝大派遣によりウィーン音楽大学の夏期講習会に参加し、アルバン・ベルク、アマデウス、ハーゲン弦楽四重奏団のメンバーに学び、室内楽の分野でも研鑽を積む。キャラバンコンサート2002、2005に参加、ムスティスラフ・ロストロポーヴィチ、小澤征爾両氏より薫陶を受ける。国内のみならず、イタリア、ドイツ、オーストリア、スペイン、カナダ、中国、台湾などの各地に客演、透明感のある美しい音色、また、繊細さと力強さの両極をダイナミックに表現するその演奏は、各地で好評を博してきた。これまでに水野佐知香、岡山潔、松原勝也、ヴォルフガング・マルシュナー、海野義雄の各氏に師事。大幸財団、松尾財団より奨学金を授与。現在、東京フィルハーモニー交響楽団コンサートマスター、フューチャー・オーケストラ・クラシック・コンサートマスター、バンクーバー・メトロポリタン・オーケストラ首席客演コンサートマスター、長野市芸術館レジデントカルテットリヴァラン弦楽四重奏団主宰、全日本学生音楽コンクール、日本香港国際音楽コンクール、刈谷国際音楽コンクール 審査員、東京音楽大学非常勤講師、東京大学先端研特任教授。東京フィルハーモニー交響楽団創設時のコンサートマスター近藤富雄は祖父で、三世代に渡ってヴァイオリニストという音楽家の家系に育つ。愛知県出身。



平塚 佳子 (ひらつか よしこ) ヴァイオリン

桐朋女子高等学校音楽科を経て桐朋学園大学卒業。同大学の推薦により奨学金を得てタングルウッド音楽祭に参加。シュレスヴィヒ・ホルシュタイン音楽祭、PMFなど、多数の音楽祭に参加。奨学金を得てニューヨークのマネス音楽院に留学。修士課程修了時に最優秀演奏者に贈られるグレゴリー賞を受賞。カーネギー・サイタルホール、ニューヨークのクラシックFM放送WQXR、オーストリアのグラーツ音楽大主催「インターナショナル・ウィーク」などに出演。ヴァイオリンを篠崎功子、松岡典子、ルイス・カプラン、室内楽をエマーソン弦楽四重奏団、オライオン弦楽四重奏団、パメラ・フランク、アラン・ムニエの各氏に師事。2004年より東京フィルハーモニー交響楽団第1ヴァイオリンファーストプレイヤーを務める。現在はオーケストラの他、2022年よりカルテット・スベリオルのメンバーとしてベートーヴェンの弦楽四重奏曲全曲演奏会を行うなど、幅広い演奏活動を続けている。



小川 恭子 (おがわ きょうこ) ヴァイオリン

日本音楽コンクール第1位、岩谷賞(聴衆賞)、全部門を通じて最も印象的な奏者に贈られる増沢賞等受賞。ノヴォシビルスク国際コンクール(ロシア)、スウェーデン国際デュオコンクール等で優勝、シュボア国際コンクール(ドイツ)第2位他受賞多数。内外のオーケストラと共演の他、各地で演奏活動を行う。ドイツで演奏した際には英国音楽誌『TheStrad』より好評を得る。NHK-FMや日本製鉄文化財団主催「紀尾井 明日への扉」等に出演、NHK・Eテレ『青のオーケストラ』で演奏吹替をつとめる。桐朋学園大学を首席で卒業後、修士課程修了、辰巳明子氏に師事。推薦を受けて英国王立音楽院に短期留学しジョルジュ・バウク氏に、スイスのアカデミーでザハール・ブロン氏より指導を受ける。明治安田QOL文化財団海外研修生としてウィーン国立音楽大学に留学しローター・シュトラウス氏に師事。文京楽器の協力でBear's International SocietyよりG.Cappaを貸与されている。



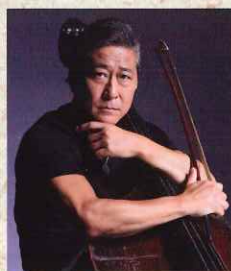
須田 祥子 (すだ さちこ) ヴィオラ

桐朋学園大学を首席で卒業。岡田伸夫氏に師事。第23回プレミオ・ヴィットリオ・ダイ賞国際コンクール等多数のコンクールで第1位優勝。皇居内御前演奏会、日本演奏連盟リサイタルシリーズ、FMリサイタル、B→C、ヴィオラスペース等数多くのソロ・室内楽の演奏活動を行っている。特に「日本の作曲家2001」及びアンサンブル金沢との演奏などNHK-FMでも紹介され、高い評価を得た。宮崎国際音楽祭、サイトウ・キネン・オーケストラ等に度々出演。2015年5月「題名のない音楽会」及び2016年11月「らららクラシック」のヴィオラ特集、同月の「題名のない音楽会」の「弦楽四重奏特集」に出演。2016年1月には「報道ステーション」で白川氷柱群の前からヴィオラだけのソロ演奏が生中継された。また、2018年6月にNHK-FM「きらくら」の水戸での公開収録に、2020年2月には「今日は一日ビオラ三昧」にゲスト出演。2023年8月にはSDA48としてNHK-FM「ベストオブクラシック」及びNHKB「クラシック倶楽部」の公開収録を行った。現在、東京フィルハーモニー交響楽団首席奏者、日本センチュリー交響楽団首席客演奏者、アクロス弦楽合奏団、ザ・シンフォニエッタみよしのメンバーを務める他、ヴィオラ演奏集団「SDA48」を主宰。洗足学園大学非常勤講師。レッスン4スタンス理論マスター級トレーナー。ソロアルバム「ビオラは歌う」シリーズ、SDA48「びおらざんまい」「VIOLA INFINITY」をリリース。



金木 博幸 (かなき ひろゆき) チェロ

札幌生まれ。1979年桐朋学園高校音楽科卒業。同年、日本音楽コンクール第2位入賞。翌年、東京国際音楽コンクール第1位入賞。齋藤秀雄賞受賞。上原与四郎氏、青木十良氏に師事。81年に渡独。ティボー・ヴァルカ氏との二重奏曲共演で好評を博す。84年北西ドイツ音楽大学首席卒業。ウィーン・フィル首席チェリスト・エマヌエル・ブラベッツ教授のもとで3年間研鑽を積む。室内楽をバリリ弦楽四重奏団、アマデウス弦楽四重奏団に師事。ダニエル・シャフラン教授、ミラノ・スカラ座首席チェリスト・アントニオ・ボカテラ教授にも師事。シュトゥットガルト国際チェロコンクール最高位入賞。スイス南部ルガーノ放送響メンバーとして活動。91年東京フィルハーモニー交響楽団首席チェリストに就任。東京フィル、東京シティ・フィル、札幌交響楽団等と協奏曲を共演。オーケストラプレイヤーとしての活動に加え、各地でのリサイタル等、ソリスト、室内楽奏者としても多彩な活動を展開し高い評価を得ている。



黒木 岩寿 (くろき いわびさ) コントラバス

東京藝術大学卒業、同大学院修士課程修了。1987年安宅賞受賞。1988年福島賞受賞。八ヶ岳高原音楽祭、霧島国際音楽祭、ゆいん音楽祭に招待される。また、ポーランド・ヴィエニャフスキ音楽祭や、バルセロナのカタロニア音楽祭にも出演する。小林研一郎指揮読売日本交響楽団、ドイツの重鎮ハンス・マルティン・シュナイト指揮神奈川フィルハーモニー管弦楽団、野尻竜典指揮トウキョウモータースチャリティーズと協奏曲で共演。2001年から2008年まで神奈川フィルハーモニー管弦楽団首席奏者をつとめ、2009年からは東京フィルハーモニー交響楽団に移籍し首席奏者の他に東京グラント・ソロイスツのメンバー、兵庫県芸術文化センター管弦楽団(PAC)にも出演している。室内楽では、マルタ・アルゲリッチ、ポール・メイエル、モディリアーニ・カルテット、アルデオ・カルテット、ジョセフ・リン等共演。映画「おくりびと」の音楽にも参加。コマーシャル、ドラマ等、ジャンルを超えたパフォーマンスで活動中。また自らの企画「文化人類学講座」は好評を博している。1990年から2004年まで東京藝術大学管弦楽研究部非常勤講師。現在は、桐朋学園芸術短期大学、洗足学園音楽大学、昭和音楽大学、大分県立芸術文化短期大学講師として後進の指導にもあたる。2016年よりミジカーザのプロデューサー。2019年より長野市芸術館のシーズン・プログラム・プロデューサーに就任。